

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七



建設予定の海上をにらみすえる海岸砂丘に1,300名が結集し実力決起を宣言。(1985・7・28)

大阪・泉佐野現地で
全国総決起集会開催
7/28

七月二八日、大阪・泉佐野市において「7・28関西新空港絶対反対全国総決起集会」が開かれ、三里塚の闘いにつづき、関西新空港八六年三月着工を阻止するために、八カ月決戦に突入し、中曽根の戦争政治を打ち破る決意を打ち固めた。

日本最大の軍事空港
建設を許さない

関西新空港の建設が予定される沖合をはるかに望む、泉佐野市の海岸砂浜に、全国から一三〇〇名が結集して集会が始められた。

ものだ。いま、国鉄の職場ではワッペン、名札問題にみられるように、一人ひとりの労働者の魂を打ち砕き、労働組合を破壊する攻撃が激化している。こうした攻撃の背景にあるものは、まさしく中曽根の戦争とファシズムへの道だ。三里塚も関西新空港も、臨調―国鉄解体攻撃も現象こそちがえ同根である。われわれは、自らの職場、生活を守るために、三里塚闘争、関西新空港粉砕の闘いと固く結合し、最後まで闘い抜く」と発言した。

三里塚二期決戦と結合し、
八六年三月着工を阻止するぞ

最後に大阪湾岸住民団体の決意表明が行われ、泉州、淡路、明石、神戸東灘地区の代表が「空港は中曽根の軍事政策としての軍事空港だ。美しい自然を次の世代に残すため、過激派といわれようが、三里塚のたたかいに連帯し、最後まで闘う」と述べ、圧倒的拍手で確認された。

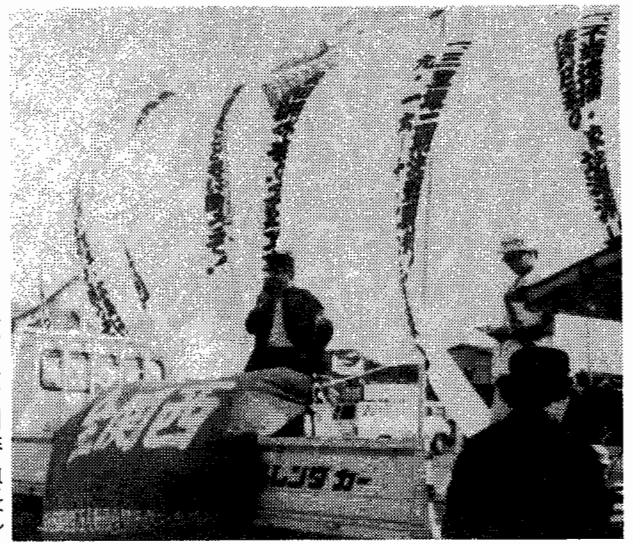
集会は「中曽根の戦争政治を許さず、東西両軍事空港を粉砕し、北富士、沖繩、広島をはじめ全国の闘う仲間と一体となって反動中曽根を打倒しよう」との集会宣言を採択し、泉佐野市内のデモに出発した。

――水野副委員長があいさつ――

北富士忍草母の会や東京実行委員会、部落解放同盟荒本支部、婦人民主クラブ全国協議会など、多くの連帯のあいさつの最後に、二五名の代表参加をかちとった動労千葉を代表して水野副委員長があいさつした。

水野副委員長は「いま三里塚では二期決戦が文字通り連日闘い抜かれ、関西においても決戦の情況を迎えている。国鉄では、去る七月二六日に監理委の答申が出され、「87年度までに分割・民営化、十万人首切り」を内容とするものである。しかも、赤字といわれる国鉄に、さらに十兆円を超える債務を背負わせようというものである。つまり、独占資本が国鉄を食いものにしてきた構造はそのままだし、さらに国鉄の財産を食いつくし、そのツケを国鉄労働者、国民に負わせようとする

民との大合流を実現し、勝利的に闘い抜くことにより、八六年三月着工阻止にむけた勝利の展望を切り拓き成功裡に闘いを終えた。



(連帯のあいさつに立つ水野副委員長)

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

24時間運行の海上・巨大軍事空港 関西新空港の来3月着工を実力阻止するぞ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！